

1人1台端末の活用による実践事例 (小・中学校用)

学校名	倉敷市立東陽中学校	実践者名	宗高 優美
教科	国語	学年	第1学年
活用内容	要点の確認 スライド作成	実践日	令和3年11月9日～18日
		授業活用段階 (岡山県版)	Stage2
単元・内容等	「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ (光村図書・国語1)		

活用の概要 (目的・活用場面・使用アプリ名を含む)

【ロイロノートの活用】

- 本文の構成、作者の主張、実験の要点を確認する。

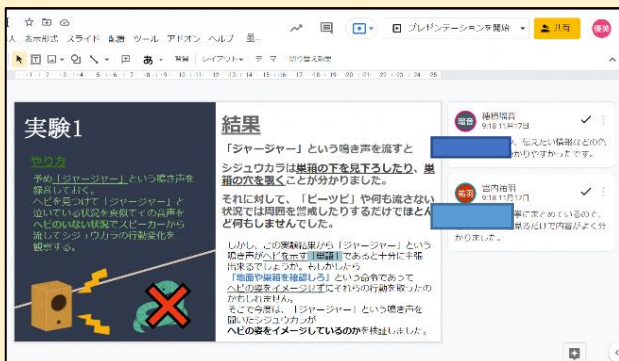


生徒発表の機能を利用し、クラス全体へ共有しながら内容のまとまりを確認する。

実験の要点を班ごとにまとめさせ、提出させることで理解度を確認する。

【Google スライドの活用】

- 班ごとにスライドを作成する。
- 互いのスライドにコメントしあう。
(友達にもらったコメントを踏まえて、反省を記入する。)



実践者の手ごたえ

スライド作成の過程で読み取った内容を主体的・効率的にまとめることができていた。今回はレイアウトに関する指導を行わなかったため、班ごとに差が開いてしまった面もあった。

児童生徒・保護者等の主な反応や声

(生徒より)
「表紙の作成に時間をかけすぎた。」「短い言葉でまとめた方が見やすいことが分かった。」「図やグラフも載せた方が実験の内容が分かりやすい。」「教科書以外の情報を調べているのがすごい。」「図形を使ってまとめるのを真似したい。」